



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 遠藤 嘉一
幹事 佐藤 政司
SAA 丹野富二男
会報小委員長 釣巻 穰

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務所 いわき市植田町中央一丁目 6 番地の 9
○例会場 ホテルミドリ 〒 974 - 8261 ホテルミドリ内
TEL0246 - 62 - 3737

2009 ~ 2010 年国際ロータリーのテーマ

第 2327 回 例会 平成 21 年 8 月 19 日 (水・曇)

ゲスト

いわき市交通安全母の会連合会顧問

日本舞踊岩見流藤和会 会主

斉藤 和子 (柳 紅蘭) 様

ロータリーソング

— 今月は会員増強及び拡大月間です —



4 つのテスト

橋本 慶紀会員

◎会長報告 - 遠藤会長

皆さん、今日は。8 月も半ばに入り梅雨明けもはっきりしないままに秋の気配が漂って来たように思われます。まず、最初に本日のお客様をご紹介します。いわき市交通安全母の会連合会顧問、日本舞踊岩見流藤和会会主をされております斉藤和子様です。後程日本舞踊のお話を頂戴することになっております。8 月という私達の年代からして 8 月 15 日の終戦記念日を忘れることは出来ません。64 年前の昭和 20 年 8 月 15 日、日本は無条件降伏してポツダム宣言を受け入れました。8 月 6 日に広島に原爆が投下、8 月 8 日ソ連が満州国境を越えて侵攻、8 月 9 日に長崎に原爆が投下されました。そして終戦となりましたが遅きに失した終戦であることはいろいろな歴史家が言っております。第二次世界大戦は人類史上最大の死者を出しています。全世界で 6,000 万人の人々が亡くなり、その中にはユダヤ人 600 万人も含まれています。アジアで 2,000 万人、日本での数は 310 万人が犠牲となっています。軍人軍属で 230 万人、民間人が 80 万人というのが内分けです。戦場で散った人、戦火空襲で亡くなった人、あまりにも多くの掛替えない命を失って大変残念に思います。何十年か前私は広島原爆慰霊碑の前に立ったことがあります。慰霊碑には「安らかに眠って下さい、過ちは繰り返しませんから」と書いてありました。それを見て私は堪らず涙が出てしまいました。今の日本で戦後生まれは 4 分の 3 になりました。戦争前後の近現代史は現在の日本に直結する歴史でありながら、教育の場では充分に取り上げられていないように思います。日本はあの廃墟の中からこのような平和と繁栄を築いて来ました。今後絶対に戦争はおこしてはならないということを皆で考えておかなければならないと

思います。私からは以上です。

◎幹事報告 - 佐藤政司幹事

- ・いわき小名浜ロータリークラブより心臓移植される鈴木大仁君の募金依頼が届いています。
- ・ロータリー財団のセミナーと社会奉仕委員会のセミナーの案内が来ましたので担当者に出席をお願い致しました。
- ・8 月 21 日火力さんで盆踊りがあります。是非多数のご参加をお願いします。7 時現地集合です。
- ・皆さんのボックスに地区大会の案内を入れておきました。出欠の連絡をお願いします。今年の地区大会は 1 泊を予定しております。大会は土曜、日時ですが泊まりは日曜と月曜です。

◎各委員会報告

◇出席委員会

— 越田和副委員長

本日の出席状況は下記の通りです。少し出席率が悪いようですので皆さん宜しくお願いします。



◇スマイルボックス委員会 - 赤津副委員長

・いわき市交通安全母の会連合会顧問、日本舞踊岩見流藤和会会主斉藤和子様の卓話を歓迎いたしました。高萩、富岡、児玉、生駒、渡辺 (勉)、佐藤 (英)、渡邊 (公)、金成、小熊、高木、釣巻各会員及び遠藤会長

・出席奨励賞ありがとうございました。

佐藤 (英) 会員

・前回休んでごめんなさい。

赤津会員

・本日早退ごめんなさい。

安齋会員

◇親睦活動委員会 - 峯口副委員長



親睦活動委員会より観月会のお知らせをします。今月 5 日にご案内の F A X を送りましたが念の為ご案内をさせて頂きま。9 月 6 日曜日、行く先は横浜です。植田を 7 時 30 分に出発、横浜グランドインターコンチネンタルで昼食をとります。その後横浜開港博覧会を 3 時まで見学して帰路に着きます。植田解散が 7 時 30 分です。出欠の返事は佐藤 (次) 会員へお願いします。不明なことがありましたら親睦委員までお願いします。

◎ゲスト卓話

日本舞踊岩見流藤和会

会主 柳 紅蘭 様

いわき市交通安全母の会連合会

顧問 斉藤 和子 様



本日は、このような席にお招き戴きありがとうございます。

今日は「日本舞踊の心と、私の

舞踊哲学について」お話をしたいと思います。

～日本舞踊の心と、私の舞踊哲学について～

1 日本舞踊とは

日本舞踊とは、ジャパニーズダンスの和訳、つまり日本のダンスの総称である。

舞踊とは、坪内逍遙と福地桜痴による造語で、日本の伝統的なダンスである舞 (まい) と踊り (踊り) をくっつけたもの。

逍遙の「新楽劇論」(明治 37 年) でひろく用いられるようになった。

略して日舞ともいう。

① 舞 (まい、旧かな表記まひ) とは、唄や音楽に合わせて、すり足などで舞台を回るもの。神楽・舞楽・能楽・地唄舞・白拍子・曲舞などがある。

② 踊り (おどり、旧かな表記をどり) とは、唄や音楽に合わせて、足を踏み鳴らしリズムに乗った手振り・身振りをするもの。念仏踊り・盆踊りなどがこれに当たる。

2 古典舞踊と新作舞踊

戦後の昭和 30 年代頃までは、花流会がピークであり各地域に芸鼓さんも沢山おり古典的舞踊が盛んであった。

その後世界的にも国内的にも社会の急激な変化と著しいレジャー施設の整備等から、舞踊界にも変化の波が押し寄せ、現在では新 (作) 舞踊が大勢を占めている。

また、公民館等を利用した高齢者を対象とした集団演技の「民謡舞踊・スポーツ民謡」等が進出してきた。

3 日本舞踊の流派と岩見流

全国で約 200 流派が存在する。

5 大流派は、花柳流、藤間流、若柳流、西川流、坂東流と言われている。

岩見流は若柳流派の一番弟子であった「若柳吉芳治」が東京に於て舞踊家として活躍し戦時中の昭和 20 年福島県棚倉町に疎開し、東白川郡・田村郡内まで情熱的に日本舞踊を県内に広めた。

この間時代の流れを汲み創作 (新作) 舞踊に意を持ち、積極的に新しいの感覚の舞踊の研究に取り組んだ。そして、昭和 53 年引退披露を機にいわき市居を構え、本名岩見一の名を取り「岩見流」を立ち上げ「若柳」の「柳」を冠し「柳 芳蘭」名でいわき市で一世を風靡した。従って岩見流は由緒有る流派であり、私はこの岩見流の家元の「柳 芳蘭」の直弟子で有り、家元の一字「蘭」の名前を戴き私の芸名は「柳 紅蘭」である。

また、家元の孫にあたる「柳 紅蘭」の弟子には私の「紅」の一字を与え、会長が「柳 紅桜」のように名取名が与えられる。

4 日本舞踊の心と私の舞踊哲学

① 日本舞踊は人格・識見向上のための人間教育の一環であると信じている。

次に述べるは、伝統文化を継承するための最低限のルールと心得え、私はこれを人生哲学として、自らを磨くと共に、門下生に対する人格・識見の向上に心掛けている。

(1) 礼節を重んじる

○ お稽古は「礼」に始まり「礼」に終わる。相手を尊敬し、相手の人格を認めあう、師匠、先輩に対する感謝の気持ち

(2) 規律を重視する

○ 先輩・後輩の序列をきちっと定める。階級の同じものは先にその階級になったものが先輩、大人の後輩が先輩に小学生・幼稚園児であっても礼節をつくし、先に手をつき挨拶する。

○ 会議・宴席順はおのずと序列通り。何も指示されなくても自然と形が出来上がる

○ 家元・師匠の言動は絶対である。師匠が「黒」といえば、たとえ「白」で有っても「黒」であること

○ 師匠の方針・会の方針に逆らえば辞めて戴く。名取以上の反逆行為は、破門、一般会員は除名、この世界では成就しない。

○ 身なり、言動は伝統文化にふさわしくすること。粗野、乱暴な言動を慎み、身なりも着物以外でも清楚に

○ 心の舞踊につとめる。

日本舞踊は単なる踊りとしての技術習得ばかりでなく、唄の歌詞に埋め込まれた様々な意味、感情を心で表現しなければ訴えるものがない。集団で踊る舞台には集団の動き形を考慮するも感情表現が難しい。

5 20 周年記念発表会

本年 12 月 13 日 (日) いわき市芸術文化交流館「アリオス大ホール」において藤和会発足 20 周年記念チャリティ発表会を開催しますので是非ご高覧戴きたい。

出席状況

正会員数 53 名
本日の出席率 75.51%